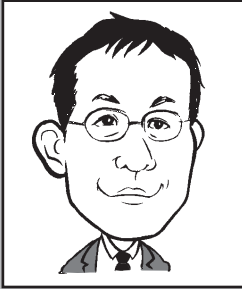


○新しく住む人も古くから住む人もともにふるさとと呼べる「越谷」づくりを目指して！

越谷市議会議員

平成 28 年 3 月発行 No.13



# 大野やすし市政報告

〒343-0806 越谷市宮本町1-94-3

電話/FAX 048-940-7163

携帯 080-3300-8100 アドレス y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp



HPあります。検索エンジンでy-ohno.jpと入力してください。FB、ツイッターもよろしく願います。



2/28 雛めぐり 蔵の雛

越谷市3月定例会は、2/24～3/17まで開催され、私は代表質問に登壇しました。今回の市政報告ではその代表質問の概要を紹介します。代表質問では、①若者が結婚し、子ども3人を安心して産み育てられるまちづくり②東京圏にあるポテンシャルを十分活用したまちづくり③国・県・市の連携による都市基盤整備の推進④越谷の魅力発信と地元産業の振興⑤越谷の歴史と伝統文化を継承し、郷土愛を育む⑥生きる力を育む教育に腰を据えて取り組む⑦家族の価値を若者及び子ども達に伝えるの7点から市長、教育長の見解を問いました。概要と私の見解は以下のとおりです。市民のみなさんが感じる、市政についてのご意見・ご要望、遠慮なく、私にお聞かせください。

## 1 若者が結婚し、子ども3人を安心して産み育てることができるまちづくり

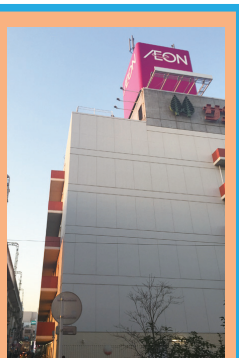


今、日本では30歳までに約半数が結婚せず、将来的には女性の5人に1人、男性の4人に1人が独身のまま生涯を終える可能性があるといわれています。国が2060年に1億人程度の人口を維持することを目標とする中で、越谷市は平成33年の34万人をピークに人口が減少し始めると想定し、2060年には29万7千人の人口を維持することを目標にしようとしています。

そこで、①越谷市が今後の人口減少にどのように立ち向かうのか②魅力ある家庭像の提供と婚活環境づくり③病児保育や学童など安心できる子育て環境づくり④敬老祝金を縮減しそれを原資にした3人目以降の子育て祝金の創設について、市長、教育長に問いました。

基本的な方向については同じですが、3人という子どもの数や家庭像の提示はなく、子育て祝金の創設は困難とのことでした。なお、学童については28年度に、越谷駅北側の高架下に増設予定とのことでした。

## 2 東京圏にあるポテンシャルを十分活用した魅力あるまちづくり



レイクタウンや西大袋の区画整理事業の収束が見えてきた今日、良好な都市環境を越谷市で維持するため、今後も東京圏にあるメリットを活かしたまちづくりを継続する必要があると考えています。そこで①コンパクトシティへの誘導方法②南越谷地区への業務商業系機能の誘導③市役所北側の土地の高度利用による住居系機能の向上④(仮称)出羽公園駅の設置及び周辺地域の区画整理に伴うJR武蔵野線の高架化⑤流通・工業系土地利用の拡充について問いました。①～④は今後検討し、⑤については積極的に取り組むとのことでした。

### 3 国・県・市の連携による都市基盤整備の推進



①八潮越谷線整備に伴う国道 463 号バイパスの延伸など交通ネットワークの整備②平成 27 年 9 月関東・東北豪雨に対する国、県への要望後の治水対策等の成果③「道の駅」の整備における手続と適地選定の条件の 3 点の都市基盤整備の課題について、市長に問いました。①は環境に配慮した方策を県が検討中②は県が新方川の緊急対策を措置するなど要望活動の成果があったこと③は防災面などの含め国とも調整中とのことでした。

### 4 越谷の魅力発信と地元産業の振興



①商工会議所設置のメリットと越谷市における商工施策の展開②ものづくり企業調査の成果と活用③農商工の連携と観光農園事業の展開④越谷駅北側高架下「観光物産拠点施設」整備の狙いと今後の事業展開について、産業振興の点から問いました。①②③④はそれぞれ産業振興に貢献し、④は特に高架下約 260 m<sup>2</sup>の敷地に新たに設置し、観光案内機能の強化を図るもので、越谷の魅力発信に期待が高まります。

### 5 越谷の歴史と伝統文化を継承し、郷土愛を育む



①旧日光街道越ヶ谷宿の古民家や蔵を活用すること②本年秋開催予定の越ヶ谷の秋祭りを観光資源として活用すること③権限移譲された教職員研修における越谷の歴史研修の充実④こしがや能楽堂を活用した百人一首、囲碁、将棋大会などの実施⑤越谷の歴史を一体で学ぶことのできる郷土資料館の設置について、市長、教育長に問いました。それぞれ前向きな答弁の中で⑤は重要性も認識し既存施設の有効活用を検討とのこと。

### 6 生きる力を育む教育に腰を据えて育む



①中 1 ギャップを埋める小・中学校一貫教育の推進②授業態度が落ち着かない学級への対応③職業人として、企業や業界を支える大人になる動機づけを与える教育について、問いました。①はモデル事業の成果を踏まえ今年度から全校で実施したこと②は組織的にきめ細かな対応をしていること③は職場体験を活用との答弁がありました。

### 7 家族の価値を若者及び子ども達に伝える



最後に、現在の若者や子ども達に対し、自己決定の尊重や家族の多様性に配慮する観点から、いつの間にか誰も語らなくなった結婚、出産の喜びや家事・育児・子育て・介護の経験が自らの人生を豊かにすることを誰がどのように若者や子どもたちに伝えるのかについて問いました。私はそれぞれの立場で大人が避けずに頑張ろうという気持ちをこれからも皆さんに伝えていきたいと考えています。皆さんのご賛同をお願いします！！

#### 大野やすしの3つの主張

「マイ・ホームタウン越谷」の実現に向けて

- 誇りを持てるまち越谷を築く
- しぶとい日本人の再生を目指す
- 簡素で効率的な行政体制を創りあげる

#### 経験から取組む5施策

- 1 子ども・教育施策の推進
- 2 まちづくり・経済産業施策の展開
- 3 危機管理施策の強化
- 4 観光を通じた伝統・文化の活性化
- 5 行財政改革の徹底

#### 経歴

S38 宮本町生まれ、越ヶ谷小、中央中、越ヶ谷高、明治大学政経学部卒  
S62～H23 東京都職員（建設、行革、防災等）、元越ヶ谷高校同窓会副会長  
H23.4 越谷市議初当選  
H27.4 越谷市議当選（2回目）

#### 家族

父、母、妻、3男1女の8人家族